



～ ONE ROOF ～

「大きなおうち」を受け継ぎながら、子どもたちも職員も地域の皆さんも、みんながひとつ屋根の下で笑い、ひとつになり、そして成長して、未来を作り出す力を育んでいこうという思いを込めています。

にこにこだより

令和 2 年 10 月

社会福祉法人東京児童協会 船堀中央保育園

〒134-0091 江戸川区船堀 2-23-10

TEL 3680-1441 FAX 3680-1618



秋晴れの心地よい季節となりました。子ども達は、屋上のさつま芋を「今年もたくさんできるといいね!」と楽しみにし、園庭に落ちる栗の実を見つけては「あれはなあに」と不思議そうに見つめ、今の季節ならではの雰囲気を楽しんでいます。

また、『食欲の秋』ということもあり、美味しい食べ物や果物がたくさん献立に入ってきます。その一方東京都の私立幼稚園では、4歳児のブドウでの窒息という痛ましい事故が起きてしまいました。消費者庁の調査によると、2010年から2014年に起きた14歳以下の窒息死事故のうち、食品に起因するものは17%、うち約8割が6歳以下ということ、マシュマロや団子、ブドウにリンゴなどが多く、保育園で提供するときは形や大きさなどを考え配慮しています。

窒息の原因となりやすい食べ物とは…。と、ぱっとイメージしにくいこともあるかと思います。一般に子どもの口に入る大きさの目安はトイレットペーパーの芯の大きさとされています。また、形や性質として「弾力のあるもの、つるっとしたもの、丸いもの、粘着性が高いもの、固いもの」といった特徴が挙げられます。今回の事故で厚生労働省から出ているガイドラインを見直し、保育園でも再度大きさや食材などを確認し、今後の献立にも反映していきます。給食の際に、ブドウを4分の1で提供すると幼児クラスの子どものからは、「食べにくい」「汁が薄い」などという声が聞こえました。複雑ではありますが、引き続き「保育では安全を最優先」という考えの下に保育現場を守るため対応していきます。ブドウが美味しい時期でもありますので、ご家庭でも配慮し楽しい食事の時間をお過ごしください。また、もしもの時に対応できるよう、今年も職員は上級救命講習を4人、普通救命講習を22人が受けています。更に、引き取り訓練時以外にも1年に1回園内研修の中で心肺蘇生法等の確認を行う等、法人全体でも取り組んでいるところです。

新型コロナウイルスの感染予防のため、ランチルームでの食事の際、子どもたちの様子を見守る大人はいますが、普段のように大人と一緒に食卓を囲むことはしておりません。例年に比べてお代わりをする子どもの姿が少なくなり、食べなくなるような雰囲気をつくることの難しさを感じています。大人と一緒に食べる食事がこれほどまで大切で、影響があったことを再確認し、以前のように早く子ども達と楽しい食事ができる日を願うと同時に、ご家庭で皆さんと一緒に食卓を囲む時間を大切にしていただけたいと思います。

☆10月の行事予定

1日 0歳児健診 3日 幼児懇談会(5歳児)・保護者向け研修会(幼児クラス対象)

5日 身体測定(3・4・5歳) 6日 身体測定(0・1・2歳) 7日 避難訓練 15日 0歳児健診

23日 幼児懇談会(3、4歳児クラス) 27日 体育指導

※幼児クラスは、現在登降園時、玄関での引き渡しとなっています。そのため、園内の様子を少しでも見て頂きたいという思いもあり幼児懇談会を開催致します。3、4歳児クラスに関しては、参加人数に応じて会場を分けて行う予定です。尚、新型コロナウイルスの感染者数等により中止となる可能性もあります。

※月組ミニミニ運動会(月組対象)を11月5日(木)〈候補日:①11月6日②11月10日〉に行います。

月組の保護者の方の参観が可能な形での計画を予定しています。詳細は、後日お知らせ致します。

※年間行事予定表から変更がありますので、ご確認下さい。



10月の保育



<目標>

- ・身振りや喃語で保育者に思いを伝え、受け止めてもらい安心して過ごす。
- ・園庭に出て秋の自然を感じ、様々な発見を保育者と一緒に楽しむ。



<先月の子どもの姿>

過ごしやすい気候になり、園庭やベランダに出て遊んでいます。園庭では、砂場でシャベルやカップを手に取り砂を掬って感触を楽しんだり、歩行やハイハイに興味のある場所まで移動したりと久しぶりの戸外活動を満喫していました。又、ホールで伸び伸びと身体を動かして遊び、マットの山やカラーマットのトンネルを設定すると意欲的に登ったり、潜ったりし、保育者に「ばあ！」と可愛らしい笑顔を沢山見せてくれています。

<お楽しみ>

- ・園庭に出て季節の自然に触れたり、ハイハイや歩行で探索をしたりして楽しもう。
- ・保育者が行う手遊びを真似してみよう。(トントンアンパンマン、はじまるよ)

(記：月居 あづさ)

<目標>

- ・戸外活動を通して身近な秋の自然に触れる事を楽しむ。
- ・保育者の援助により身の回りの事を進んで行おうとし、自分で出来る喜びを感じる。



<先月の子どもの姿>

“自分でやりたい”という姿が沢山見られてきています。自分でズボンを脱いだり、足を通し引き上げようとしたりとチャレンジする姿が多く見られ、少しずつ自分で出来る事も増え、「できたよ！」と嬉しそうに伝えてくれています。制作では、クレヨンでなぐり描きをし、ぶどうの制作を行いました。指先でクレヨンを握り、トントンと色を付けたり、手首を使い横に動かし沢山の線を描いたりと笑顔を見せながら楽しんでいました。

<お楽しみ>

- ・戸外に出て身体を沢山動かし、秋の自然に触れよう。
- ・様々な形のスタンプ遊びを楽しもう。

(記：最上谷 奈央)

<目標>

- ・必要に応じて保育者に手伝って貰いながら、身の回りの事を自分で行おうとする。
- ・友達や保育者と一緒に戸外や自然の中で全身を使った遊びを楽しむ。



<先月の子どもの姿>

過ごしやすい気候になり子ども達は、戸外で元気に過ごしています。園庭に栗が実り、保育者と一緒に栗拾いをし、「おっきいのとれた!」「ちくちくさわらないようにね!」と収穫した喜びを味わったり、拾った栗を使ってご飯に見立てままと遊びを楽しんだりしていました。制作では、糊を使用し葡萄を作りました。使用する道具を保育者と確認し、「のりもってきたよ」「のりばん!」と準備しています。糊の量や伸ばし方に気を付けながら丁寧に取り組む姿がありました。食事の際は、食具を下手三点持ちで意識して持つ様になり、お友達と「こうやるんだよ」と見せ合い徐々に身に付いてきています。ご家庭でもお子様と一緒に食具の持ち方を確認してみてください。

<お楽しみ>

- ・戸外で季節の変化を感じながら沢山の身体を動かして遊ぼう。
- ・かぼちゃの制作を行い、ハロウィンを楽しもう。

(記：関 優楓)

<目標>

- ・季節の移り変わりを感じ、気候に応じた衣服の調節をしよう。
- ・秋の自然の発見を楽しもう。
- ・戸外で身体を動かして遊ぶ事を楽しもう。



<花組>

制作では、ストローと画用紙を使い竹とんぼを作りました。クレヨンで画用紙に好きな模様を描き、オリジナルの竹とんぼを完成させテラスで飛ばして遊んでいます。「すごいとんだよ!」「どっちのほうがとおくまでとぶかな?」とお友達と対決し、楽しみました。又、屋上ではボディペインティングを行いました。初めは絵の具の感触を怖がっていましたが、慣れると手の平いっぱい絵の具を付け、「ぬるぬるしてる!」と絵の具の感触を楽しんで遊んでいましたよ。

<星組>

制作では、画用紙とモールを使い毬栗を作っています。はさみの持ち方や切り方がとても上手な星組さん。画用紙の線に沿って切り、綺麗なとげを表現する事が出来ました。普段使わないモールを触ると「ふさふさしてる!」と興味津々な様子でした。可愛い毬栗が沢山完成しましたよ。又、ホールではフルーツバスケットやサーキット遊びを楽しんでいます。フルーツバスケットでは、お友達の声をよく聞き素早く移動する事が出来ました。「やったー!すわられた!」等と楽しみながら活動しています。

<月組>

当番活動として食後のレストラン掃除を行っています。「ごみこんなにあったよ!」「ゆかきれいになったよ!」等と皆で協力をして掃除を行う姿が見られています。頼れるお兄さん、お姉さんになってきています。又、折り紙ではイカや風船等様々な作品を作っています。初めは上手く折る事が出来ず戸惑っている姿も見られましたが、何回も挑戦するうちに難しい袋折りも「できるようになったよ!」と嬉しそうに教えてくれました。是非、お家でも色々な作品作りをしてみてください。

<お楽しみ>

- ・戸外で沢山身体を動かして遊ぼう。
- ・園庭や屋上で秋の自然を発見しよう。
- ・秋空ランチを楽しもう。
- ・運動会ごっこを楽しもう。(月組)

(記: 橘 萌絵)

【保健】

暑い夏も終わり、季節はすっかり秋になってきました。園庭で元気に遊ぶ姿も見られ保育園は活気があふれています。日中は汗ばむ日もありますが、気温も下がり、胃腸炎や体調を崩しやすい時期です。しっかり食べて、十分睡眠をとり、丈夫な身体と心を育てていきましょう。



視力は生後3~6カ月位で急速に発達し、6~8歳位まで穏やかに成長します。1~8歳位までは目の発達の黄金期。目の機能だけでなく、脳も発達し、猛スピードで「見る」能力が発達していく時期です。視力は近くのものや遠くのもの、小さいもの、大きいもの、動くもの、止まっているものなど、様々なものを見ることで発達していきます。外遊びを増やし、様々なものを見る機会を増やしましょう。

日常生活で気をつけること

【テレビを近くで見えていませんか？】

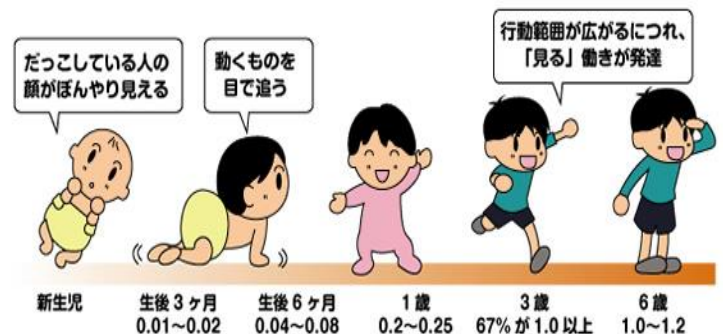
近くで見るのが癖にならないように、離れてみる習慣をつけましょう。

【前髪が目にかかっていませんか？】

目にかからないように、切るかまとめるようにしましょう。

【部屋の明かりは暗くないですか？】

目が疲れないように、部屋の照明は適度な明るさにしましょう。



○インフルエンザの予防接種について

10月26日(月)から医療従事者、65歳未満の基礎疾患を有する方、妊婦、**乳幼児(生後6ヶ月以上)~小学校低学年(2年生)の方々**のインフルエンザワクチンの接種が可能となります。(厚生労働省ホームページより)

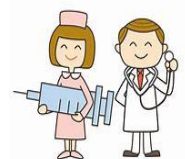
予防接種を受けた場合は、必ず職員に伝達をしてください

○発熱時の保育について

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、再度確認とご協力をおねがいします。

37.5℃以上の発熱があり、解熱後24時間以上経過していない場合は家庭保育となります。

37.5℃未満でも下痢嘔吐のある場合や、普通食を食べることが出来ない、機嫌が悪い、ゼーゼーしている等、一般状態が良くない場合には、登園を控えてください。





十五夜について



今年の十五夜は10月1日です。新月から満月になるまで、およそ15日かかることから呼ばれる「十五夜」は毎月あります。しかし、十五夜の中で旧暦の8月15日にあたる夜に見える月を「中秋の名月」と言い、空気が澄んで月がとても鮮やかに見えることから、一般的にこの日を十五夜とされています。

また、秋の収穫を祝い、満月にお供えして、実りを感謝する風習があります。ご家庭でもお供え物を用意して、お月見を楽しんでみてください。

『十五夜（中秋の名月）』～お供え物の意味・供え方～

お月見団子

収穫された米の粉で作った団子を満月に見立て、三方にのせて供えます。



里芋

一株にたくさん実をつけることから子孫繁栄を願い、蒸したり茹でたりした里芋を供えます。



すすき

魔除けになるとされ、すすきの穂を稲穂に見立てて飾ります。



秋の果実や野菜

この時期に獲れた 柿、梨、ぶどう、栗、豆、さつまいもなどを供えます。食べ物はお月見が終わったら食べましょう。お供え物を体に取り入れることにより、健康や幸せを得ることができると考えられています。



『目の愛護デー』～目を大切にしよう～

10月10日を横にすると、眉と目の形に見えることから、10月10日は目の愛護デーとされています。目の愛護デー献立には、目に良い働きをする食べ物を中心にしています。



園の献立




<お昼>

- ☆人参の彩りご飯
- ☆鰯の和風ハンバーグ
- ☆人参のカロテンサラダ
- ☆ほうれん草と油揚げの味噌汁
- ☆キャロットゼリー

<おやつ>

- ☆ブルーベリーケーキ
- ☆ヨーグルトドリンク

献立のPOINT

- 【人参、ほうれん草（β-カロテン）】
 …体内でビタミンAとなり、目の粘膜を強くし、疲れや乾燥を防ぎます。
- 【鰯（DHA）】
 …視神経や網膜を作る材料となって血行を良くし、疲れ目やドライアイの防止、視覚機能の改善を助けます。
- 【ブルーベリー（アントシアニン）】
 …眼精疲労を回復し、視力を改善する働きがあります。



～秋の野菜を食べよう～



テーマ野菜「さつまいも」を始めとした芋類やきのこ類、根菜など秋が旬の野菜には、夏の疲れをとり、体の調子を整えてくれる栄養素がたくさん入っています。しっかり食べて、天気や気温の変化に対応できる体作りをしていきましょう。



～命をいただく～



この時季は「収穫の秋」と言われ、おいしい食材がたくさん獲れます。食べ物には全て命があります。園では、食べ物の命をいただく「いただきます」「ごちそうさま」の言葉に込められている意味を話し、私達が生きる為の栄養になっていることも添えながら、残さず感謝して食べることを伝えていきます。